

第87期

中間報告書

(平成31年4月1日から)
(令和元年9月30日まで)



中日本興業株式会社

令和元年12月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は第87期第2四半期累計期間（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

事業の概況	2
四半期貸借対照表	5
四半期損益計算書	6
会社の状況	7
「株主ご優待券」について	10
株主メモ／株式等に関するマイナンバーのお届けのお願い	

事業の概況

当第2四半期累計期間のわが国経済は、米中貿易摩擦など通商問題の動向により世界経済が不透明な状況でありましたが、企業収益は高い水準で底堅く推移し、雇用・所得環境にも改善が見られるなど、景気は緩やかな回復が続きました。

このような状況のもと当社では、高稼働した作品にも恵まれましたが、積極的な営業活動を展開するとともに、お客様のニーズに応えるべく、一層のサービスの充実を図ってまいりました。

この結果、売上高は22億20百万円（前年同期比15.0%増）、営業利益は2億18百万円（前年同期比93.1%増）、経常利益は2億30百万円（前年同期比91.4%増）、四半期純利益は1億56百万円（前年同期比91.0%増）となりました。

なお、当社の中間配当金につきましては、11月13日の取締役会におきまして、1株あたり30円とし、支払い開始日を12月3日と決定いたしております。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

映画業界では、春からの洋画、アニメが好調を維持し、夏には全国の興行収入が100億円を超える作品が3番組公開されるなど、大変な賑いをみせました。

当事業では、映画、舞台挨拶・ライブビューイング・ライブイベント等を積極的に実施する複合エンターテインメントシネコンにふさわしい地域ニーズにあった番組編成と、機動的な番組編成に注力してまいりました。

「ミッドランドスクエア シネマ」では、動員力のある作品のラインナップとともに名古屋駅前発展の効果もあり、7月には興行収入の日計記録、月間記録の更新、8月には動員および興行収入の月間記録を更新いたしました。

主な上映作品としまして、邦画では、4月公開「キングダム」、5月公開「コンフィデンスマンJP」、8月公開「劇場版おっさんずラブ」、9月公開の「記憶にございません!」、洋画では、4月公開「アベンジャーズ／エンド・ゲーム」、5月公開「名探偵ピカチュウ」、6月公開「アラジン」、8月公開の「ライオン・キング」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン／紺青の拳」、7月公開「トイ・ストーリー4」、「天気の子」、8月公開の「ONE

PIECE STAMPEDE]、ODSでは、4月公開シネマ歌舞伎「桜の森の満開の下」、7月公開の「Bring The Soul:The Movie」などの番組を編成いたしました。

また、人件費などの運営コストや各種設備維持コストなどの経費節減等の取り組みを継続的に行ってまいりましたが、企業努力だけではこれらの吸収は困難であると判断したため、映画鑑賞料金を7月1日上映分より改定させていただきました。

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェ Ji.Coo.」、名古屋市中村区の「LA BOBINE ガレットカフェ」では、健康に留意した食材の研究および導入、商品の提供を心掛け、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいりました。また、イベントも積極的に実施し、店舗価値向上にも努めてまいりました。

その他、新たな試みとしてスタートした東海エリア発の本格的テレビシリーズとなるアニメ「シキザクラ製作委員会」におきましては、令和2年の放映を目指し、アニメ制作が始まっております。

この結果、当事業では、売上高は20億61百万円、営業利益は2億10百万円となりました。

【アド事業】

昨年8月に開設しました「東京営業室」を軸とし、得意分野の映画関連を中心に、迅速で充実したサポートを提供することで、より一層の取引強化とともに、さらなる営業基盤の拡大と充実に努めてまいりました。

この結果、当事業では、売上高は1億59百万円、営業利益は8百万円となりました。

今後の見通し

海外経済が依然として先行きが不透明の状況が続くと予想される中、今後のわが国経済は、消費税率引き上げによる影響が懸念されますが、消費低迷を軽減する政府の対策等もあり、その効果は軽微であると考えられ、引き続き雇用や所得環境の改善や堅調な企業収益が続くことが期待されま

す。このような状況のもと当社では、お客様にとってより良い商品・環境の提供を心掛け、一層のサービスの充実を図り、お客様の感動の創造に努めてまいります。

シネマ事業では、引き続き名古屋地区の映画・映像の情報発信基地として、複合エンターテインメントシネコンにふさわしい個性的な番組の効率的な編成に注力し、来場者人数の拡大に努めてまいります。

当下半期の予定上映作品としまして、邦画では、12月公開「男はつらいよ お帰り 寅さん」、1月公開「AI崩壊」、2月公開「スマホを落とすだけなのに 囚われの殺人鬼」、3月公開の「Fukushima50」、洋画では、12月公開「スター・ウォーズ スカイウォーカーの夜明け」、1月公開「フォードvsフェラーリ」、「キャッツ」、2月公開「キングスマン ファースト・エージェント」、3月公開の「ハーレイ・クインの華麗なる覚醒 Birds of Prey」、アニメでは、11月公開「アナと雪の女王2」、1月公開の「僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ヒーローズ：ライジング」、3月公開の「映画ドラえもん のび太の新恐竜」、「2分の1の魔法」、ODSでは、「MET ライブビューイング」や「シネマ歌舞伎」など、幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。

さらに、上質なアート作品をお届けする「アートレーベル」、コアなアニメ作品をお届けする「アニメレーベル」においても、より充実した番組編成をしております。

また、6月にご案内いたしました「Dolby Cinema™（ドルビーシネマ）」を12月20日「ミッドランドスクエア シネマ」に導入いたします。中部地区初の導入であり、最新鋭の映像技術「Dolby Vision™（ドルビービジョン）」、立体音響技術「Dolby Atmos®（ドルビーアトモス）」、そして「究極のシアターデザイン」の組み合わせで、劇的な進化を遂げたシネマ体験をお届けしてまいります。

飲食部門は、健康にこだわった素材を生かしたメニュー開発や、継続的に店内イベントを実施し、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいります。

アド事業では、「東京営業室」を起点に提案力と商品開発力の強化に努め、パーキングのサイン工事においても販路拡充を目指してまいります。

サービス業を営んでいる当社は、より良い商品を提供すること、そして、より良いサービスを提供するための人材育成、教育をすることにより、お客様に選ばれる施設となるよう、一層の精進をしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

四半期貸借対照表

(令和元年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	2,085,126	流 動 負 債	783,054
現金及び預金	1,428,889	買掛金	472,636
受取手形及び売掛金	236,316	リース債務	54,972
有価証券	300,000	未払法人税等	42,790
商 品	8,314	未払費用	106,795
前払費用	32,836	賞与引当金	16,975
預 け 金	57,187	そ の 他	88,884
そ の 他	21,581		
固 定 資 産	3,046,292	固 定 負 債	434,057
有形固定資産	(1,839,550)	リース債務	94,169
建 物	987,665	退職給付引当金	68,783
構 築 物	1,456	長 期 未 払 金	28,600
機械装置及び運搬具	89,823	資産除去債務	83,469
器 具 備 品	125,708	受入保証金	142,104
土 地	634,896	繰延税金負債	16,931
無形固定資産	(34,965)	負 債 合 計	1,217,112
電話加入権	1,147	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	33,515	株 主 資 本	3,742,745
そ の 他	301	資 本 金	(270,000)
投資その他の資産	(1,171,776)	資 本 剰 余 金	(13)
投資有価証券	532,143	資 本 準 備 金	13
関係会社株式	10,000	利 益 剰 余 金	(3,542,288)
差入保証金	591,660	利 益 準 備 金	67,500
長期前払費用	37,973	その他利益剰余金	3,474,788
		配当準備積立金	234,480
		別 途 積 立 金	2,380,000
		繰越利益剰余金	860,307
		自 己 株 式	(△69,556)
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	171,561
		その他有価証券評価差額金	(171,561)
資 産 合 計	5,131,419	純 資 産 合 計	3,914,307
		負 債 純 資 産 合 計	5,131,419

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

(平成31年4月1日から
令和元年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		2,220,902
売 上 原 価		1,157,246
売 上 総 利 益		1,063,656
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		845,050
営 業 利 益		218,606
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	5,605	
協 賛 金 収 入	6,240	
雑 収 入	1,057	12,902
営 業 外 費 用		
雑 損 失		711
経 常 利 益		230,797
税 引 前 四 半 期 純 利 益		230,797
法 人 税 等		74,152
四 半 期 純 利 益		156,644

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 状 況

■ 会社概要 (令和元年9月30日現在)

商 号 中日本興業株式会社 Nakanihon KOGYO. CO. Ltd.
本 社 名古屋市中村区名駅四丁目5番28号
設 立 昭和29年7月23日
資 本 金 2億7,000万円
従業員数 56名

■ 主要な事業所 (令和元年9月30日現在)

<映画館>

ミッドランドスクエア シネマ (14) 名古屋市中村区
ミッドランドシネマ 名古屋空港 (12) 愛知県西春日井郡豊山町

<飲食店>

覚王山カフェ Ji.Coo. 名古屋市中村区
LA BOBINE ガレットカフェ 名古屋市中村区

<展示装飾および看板の製作、広告代理店>

中日本エージェンシー 名古屋市中村区
中日本エージェンシー 東京営業室 東京都千代田区

- (注) 1. () 内の数は、スクリーン数です。
2. 「ミッドランドスクエア シネマ」、および「LA BOBINE ガレットカフェ」は、当社と株式会社松竹マルチプレックスシアターズ（東京都中央区）との共同事業体が運営しております。

■ 役員（令和元年9月30日現在）

代表取締役 社長	服部 徹	感動創造本部本部長 企画営業部担当 経営企画部担当
取締役	貴田 吉晴	感動創造支援本部本部長・総務部担当 経営企画部上席部長 食文化創造室担当 総務部部長
取締役	小塚 康	感動創造本部副本部長・興行部担当 興行部上席部長
取締役	鵜飼 正男	(社外取締役)
取締役	大谷 信義	(社外取締役)
常勤監査役	佐藤 桂一	
監査役	岡本 安史	(社外監査役)
監査役	田中 誠治	(社外監査役)
執行役員	細川 秀樹	感動創造支援本部副本部長・経理部担当 経営企画部部長、経理部上席部長

ホームページのご案内

当社のホームページにて、事業内容、サービス案内、決算情報等に関する詳しい情報をご覧いただけます。

<http://www.nakanihonkogyo.co.jp/>

中日本興業 検索

■ **株式の状況** (令和元年9月30日現在)

発行可能株式総数 2,000,000株
 発行済株式の総数 530,856株 (自己株式9,144株を除く)
 株主数 2,852名 (前期末比1名増)

■ **大株主** (令和元年9月30日現在)

株 主 名	持 株 数	持株比率
東 和 不 動 産 株 式 会 社	40,000株	7.53%
トヨタ自動車株式会社	30,000株	5.65%
松 竹 株 式 会 社	20,000株	3.76%
岡 本 藤 太	5,500株	1.03%
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	5,400株	1.01%
服 部 徹	5,200株	0.97%
廣 野 純 弘	4,392株	0.82%
濱 谷 亘 匠	4,300株	0.81%
服 部 清 純	3,500株	0.65%
横 山 秀 昭	2,700株	0.50%

(注) 持株比率は、自己株式 (9,144株) を控除して計算しております。

■ **所有者別株式分布状況** (令和元年9月30日現在)

所 有 者	株主数	比 率	株式数	比 率
金 融 機 関	1名	0.04%	5,400株	1.00%
金融商品取引業者	2名	0.07%	75株	0.01%
そ の 他 の 法 人	50名	1.75%	102,400株	18.96%
外 国 法 人 等	0名	0.00%	0株	0.00%
個 人 ・ そ の 他	2,798名	98.10%	422,981株	78.34%
自 己 名 義 株 式	1名	0.04%	9,144株	1.69%
計	2,852名	100.00%	540,000株	100.00%

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末日）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末日現在の株主の皆様は8、9、10月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」および11、12、翌年1月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、決議ご通知に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末日現在の株主の皆様は2、3、4月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」および5、6、7月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

	使用期間三ヶ月	半 期
	映画+カフェ	映画+カフェ
100株以上	5枚 + 1枚	10枚 + 2枚
200株以上	10枚 + 2枚	20枚 + 4枚
300株以上	15枚 + 3枚	30枚 + 6枚
400株以上	20枚 + 4枚	40枚 + 8枚
500株以上	25枚 + 5枚	50枚 + 10枚
1,000株以上	40枚 + 8枚	80枚 + 16枚
2,000株以上	50枚 + 10枚	100枚 + 20枚
4,000株以上	75枚 + 15枚	150枚 + 30枚

ご利用可能施設

映画館		住 所	電話番号
ミッドランド スクエア シネマ	1～7番 スクリーン	名古屋市千種区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5F	(052) 527-8808
	8～14番 スクリーン	名古屋市千種区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル2F	
ミッドランドシネマ 名古屋空港		愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内	(0568) 39-3911
カフェ		住 所	電話番号
覚王山カフェ Ji.Coo.		名古屋市千種区丘上町1-39 覚王山フランテ2F	(052) 751-1234
LA BOBINE ガレットカフェ		名古屋市千種区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル1F	(052) 583-5541

株主ご優待券のご利用については、当社ホームページをご覧ください。
<http://www.nakanihonkogyo.co.jp/company/>

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日・中間配当金9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所 第二部 (証券コード:9643)
インターネットアドレス	http://www.nakanihonkogyo.co.jp/

単元未満株式の買取、住所変更等、 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-232-711 (通話料無料)

インターネットアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式等に関するマイナンバーのお届けのお願い

- 株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。
- お届出が済んでいない株主様は、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。
- お手続き方法など詳細につきましては、証券会社等へお問合せください。

